

最近の管内総合経済動向 (2025年6月指標を中心として)

2025年8月20日

経済産業省 中部経済産業局
企画調査課

- 注) 1. 比較は、断りのあるものを除き、2025年6月実績値による。
2. 「P」は、速報値。
3. 「管内」とは、富山、石川、岐阜、愛知及び三重の5県を指す。
4. 前月比及び前年同月比は、増減率(%)を表す。
5. 下線部は、先月から変更した判断。

(お問合せ先)

中部経済産業局 総務企画部 企画調査課長 品田

担 当 : 中島

電 話 : 052-951-2723

メール : bz1-chb-chosa@meti.go.jp

最近の管内総合経済動向 (2025年6月指標を中心として)

- 生産は、緩やかな持ち直しに足踏みがみられる。
- 個人消費は、持ち直している。
- 設備投資は、東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている。
- 公共投資は、公共工事前払金保証請負金額が4か月連続で前年同月を上回った。
- 住宅投資は、新設住宅着工戸数が3か月連続で前年同月を下回った。
- 輸出は、名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を下回った。
- 雇用は、有効求人倍率が2か月連続で低下した。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。
- 企業倒産は、倒産件数が2か月ぶりに前年同月を上回った。

以上、総合的に判断して、**最近の管内の経済動向は、
持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる。**

総括判断は、2025年6月発表以来、3か月連続。

判断の推移

公表年		2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	前月との 判断比較
公表月日		3月18日	4月16日	5月20日	6月17日	7月16日	8月20日	
実績月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
総括判断		持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	持ち直しているものの、生産面に足踏みがみられる	➡ 3か月連続
管内生産（総合）		緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	➡ 3か月連続
主要産業の生産動向	◎輸送機械	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	緩やかな持ち直しに足踏みがみられる	➡ 3か月連続
	◎生産用機械	持ち直しの動きがみられる	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	➡ 5か月連続
	◎電子部品・デバイス	弱含みとなっている	横ばいとなっている	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	➡ 2か月連続
	◎電気機械	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	➡ 4か月連続
	◎金属製品	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	➡ 16か月連続
	◎鉄鋼	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	➡ 17か月連続
個人消費		持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	➡ 24か月連続

※下線部は判断を変更。



上方修正



据え置き



下方修正

動向の推移

公表年		2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	2025年
公表月日		3月18日	4月16日	5月20日	6月17日	7月16日	8月20日
実績月		1月	2月	3月	4月	5月	6月
需 要 の 動 向	◎設備投資	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る見込みとなっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る見込みとなっている	東海では全産業で前年度を下回る計画、北陸では全産業で前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている
	◎公共投資	公共工事前払金保証請負金額が8か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が9か月ぶりに前年同月を下回った	公共工事前払金保証請負金額が2か月ぶりに前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が2か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が3か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が4か月連続で前年同月を上回った
	◎住宅投資	新設住宅着工戸数が2か月ぶりに前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が3か月ぶりに前年同月を上回った	新設住宅着工戸数が2か月ぶりに前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が3か月連続で前年同月を下回った
	◎輸出	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が3か月連続で前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が4か月連続で前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が5か月連続で前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が6か月ぶりに前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を下回った
	◎雇用	有効求人倍率が2か月ぶりに上昇した。また、新規求人数が3か月ぶりに前年同月を上回った。	有効求人倍率が前月と同一であった。また、新規求人数が2か月ぶりに前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月ぶりに上昇した。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月連続で上昇した。また、新規求人数が3か月ぶりに前年同月を上回った。	有効求人倍率が5か月ぶりに低下した。また、新規求人数が2か月ぶりに前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月連続で低下した。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。
	◎企業倒産	倒産件数が2か月ぶりに前年同月を上回った	倒産件数が2か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が3か月ぶりに前年同月を下回った	倒産件数が2か月ぶりに前年同月を上回った	倒産件数が2か月ぶりに前年同月を下回った	倒産件数が2か月ぶりに前年同月を上回った

1. 生産

生産は、緩やかな持ち直しに足踏みがみられる。

鉱工業生産指数（6月速報）は、電子部品・デバイス工業、電気機械工業等がプラス寄与となったものの、輸送機械工業、生産用機械工業、プラスチック製品工業等がマイナス寄与となったことから、前月比－3.6%と2か月ぶりの低下となった。また、前年同月比は＋3.3%と2か月ぶりの上昇となった。

業種の動向を見ると、主力の輸送機械工業は、自動車で車種切り替えなどの影響がみられることから、緩やかな持ち直しに足踏みがみられる。生産用機械工業は、金属工作機械などで設備投資に慎重な姿勢がみられることから、横ばいとなっている。電子部品・デバイス工業は、集積回路でモバイル向けに動きがみられるものの、データセンター向けの動きが弱いことから、足踏み状態となっている。他業種を含めた複合的な要因を考慮して、3か月連続で「緩やかな持ち直しに足踏みがみられる」と判断した。

先行きについては、海外経済の動向や為替変動、不安定な世界情勢等によって引き続き不透明な状況が続いており、今後の動向を注視していく必要がある。

1. 生産

(2020年=100)

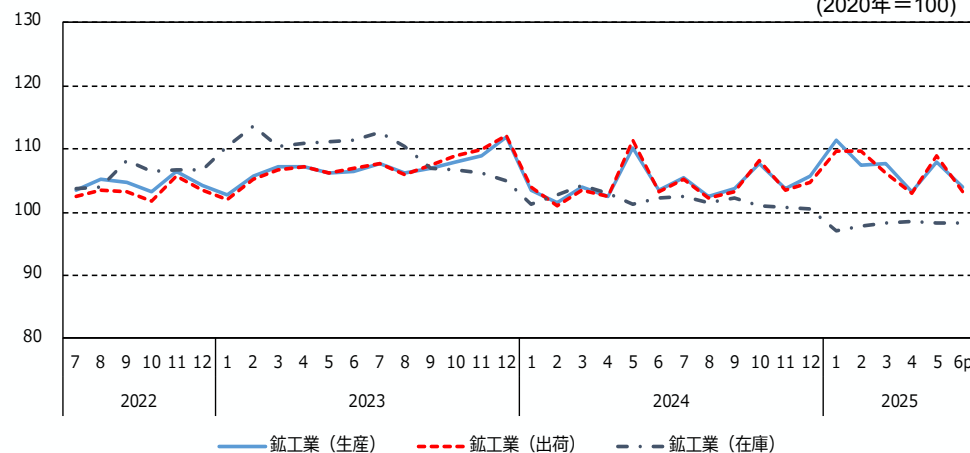
管内	季節調整済指数			原指数 2025年 6月p	前年 同月比
	2025年 5月	2025年 6月p	前月比		
生産	107.9	104.0	- 3.6	107.9	+ 3.3
出荷	108.8	103.3	- 5.1	106.5	+ 2.9
在庫	98.3	98.3	0.0	99.7	- 3.9

(2020年=100)

全国	季節調整済指数			原指数 2025年 6月p	前年 同月比
	2025年 5月	2025年 6月p	前月比		
生産	101.2	102.9	+ 1.7	103.3	+ 4.0
出荷	102.2	101.4	- 0.8	102.1	+ 3.8
在庫	99.5	99.1	- 0.4	100.2	- 3.2

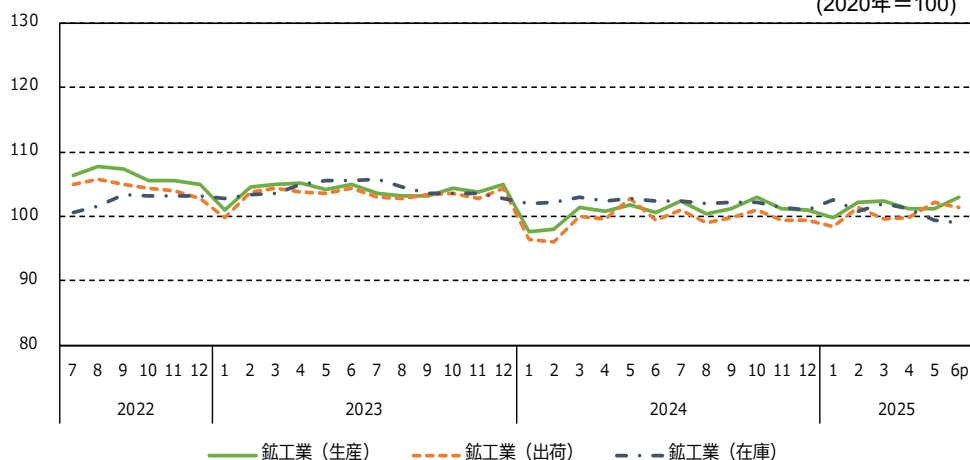
管内 鋳工業指数（季節調整済）

(2020年=100)



全国 鋳工業指数（季節調整済）

(2020年=100)



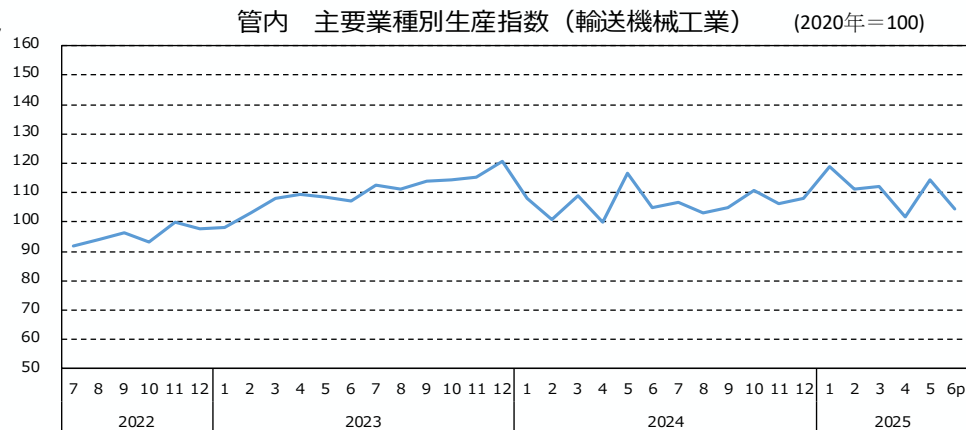
1. 生産

(1) 輸送機械の生産は、緩やかな持ち直しに足踏みがみられる。

自動車の生産は、車種切り替えなどの影響から、緩やかな持ち直しに足踏みがみられる。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数 2025年 6月p	前年 同月比
	2025年 5月	2025年 6月p	前月比		
生産	114.5	104.3	- 8.9	109.6	+ 3.4

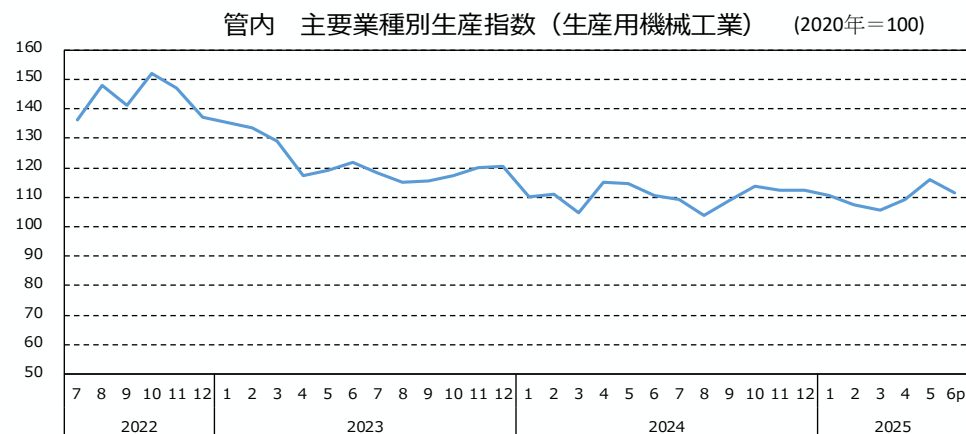


(2) 生産用機械の生産は、横ばいとなっている。

金属工作機械などで、設備投資に慎重な姿勢がみられることから、横ばいとなっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数 2025年 6月p	前年 同月比
	2025年 5月	2025年 6月p	前月比		
生産	116.0	111.4	- 4.0	114.0	+ 2.8



1. 生産

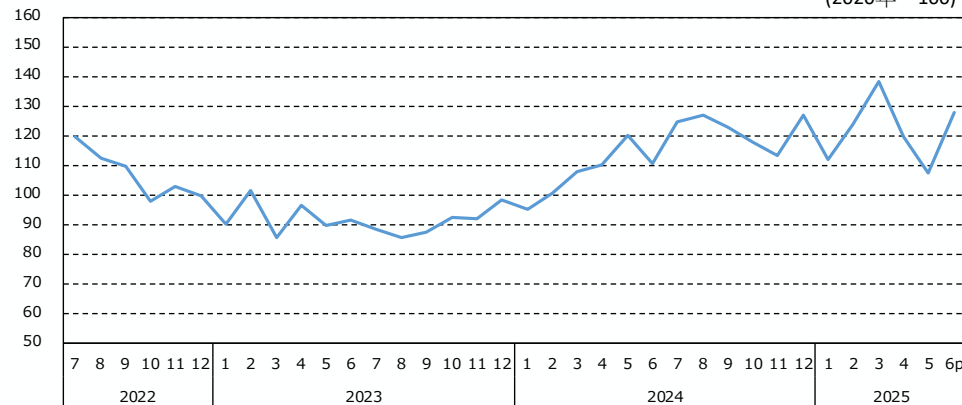
(3) 電子部品・デバイスの生産は、足踏み状態となっている。

モバイル向けに動きがみられるものの、データセンター向けの動きが弱いことから、足踏み状態となっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	
	2025年 5月	2025年 6月p	前月比	2025年 6月p	前年 同月比
生産	107.6	128.2	+19.1	134.4	+17.5

管内 主要業種別生産指数（電子部品・デバイス工業） (2020年=100)



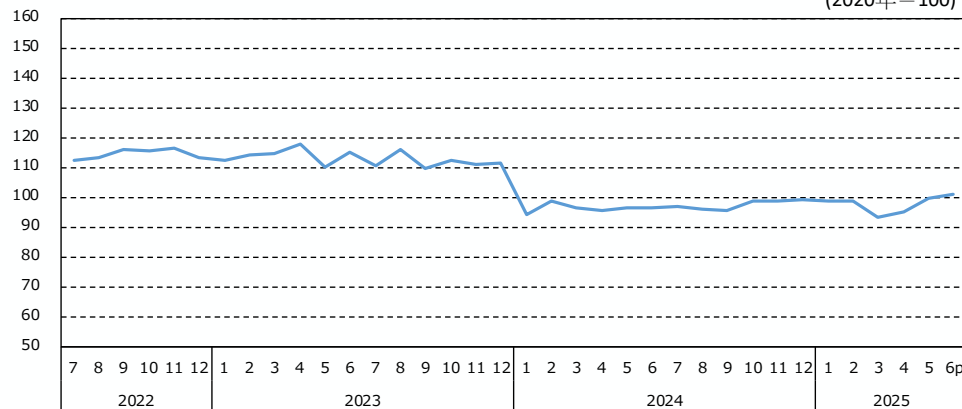
(4) 電気機械の生産は、横ばいとなっている。

自動化関連機器向けの一部製品で回復に遅れがみられることから、横ばいとなっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	
	2025年 5月	2025年 6月p	前月比	2025年 6月p	前年 同月比
生産	99.8	101.4	+1.6	103.2	+7.6

管内 主要業種別生産指数（電気機械工業） (2020年=100)



1. 生産

(5) 金属製品の生産は、横ばいとなっている。

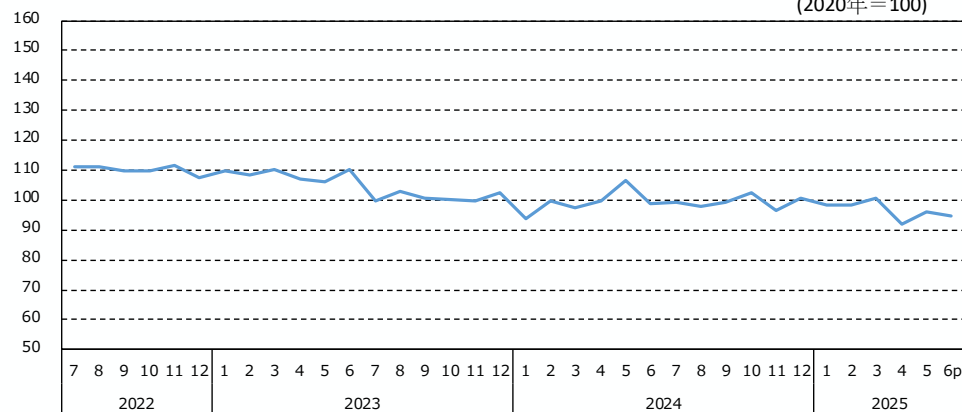
アルミニウム建材は新設住宅着工戸数が伸び悩んでいることから弱含みとなっている。暖ちゅう房熱機器やばねは横ばいとなっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	前年 同月比
	2025年 5月	2025年 6月p	前月比	2025年 6月p	
生産	95.9	94.9	- 1.0	96.6	- 1.2

管内 主要業種別生産指数（金属製品工業）

(2020年=100)



(6) 鉄鋼の生産は、横ばいとなっている。

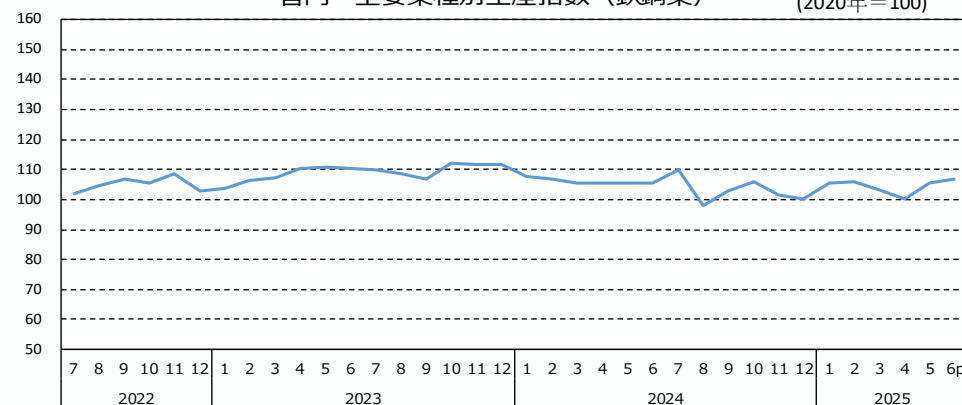
自動車向け需要は横ばいで推移しており、産業機械や工作機械向けなどの需要は低迷が続いている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	前年 同月比
	2025年 5月	2025年 6月p	前月比	2025年 6月p	
生産	105.5	106.6	+ 1.0	110.1	+ 1.9

管内 主要業種別生産指数（鉄鋼業）

(2020年=100)



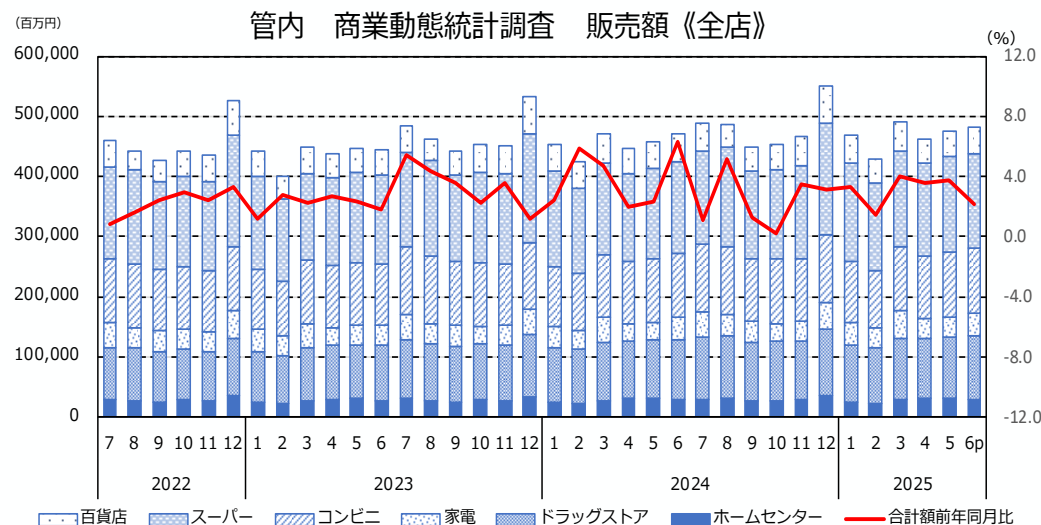
2. 個人消費

個人消費は、持ち直している。

6月の管内商業動態統計（販売額（速報値））は、前年同月比+2.2%と全体では43か月連続で前年を上回った。気温の上昇により、飲料やファン付きウェア、制汗剤などの季節商品の売上が伸びたほか、猛暑予想によりエアコンの売上が好調となった。スーパーは、米の相場高が飲食料品の売上増加に寄与したほか、麺類などの代替品の売上も好調となった。コンビニは、各社の販売促進が奏功しており、おにぎりなどの売上が好調となった。家電大型専門店は、エアコン、携帯電話、PCの売上が好調となったほか、新型ゲーム機の発売が売上増加に寄与した。ドラッグストアは、米の相場高が食品部門の売上进行けん引したほか、調剤部門の売上が好調となった。ホームセンターは、冷房器具やファン付きウェアといった季節商品の売上が好調となったほか、晴れの日が多く、除草剤を含む園芸用品やアウトドア用品などの売上が伸びた。以上のことから、24か月連続で「持ち直している」と判断した。

先行きについては、物価の高騰や気温の変化、インバウンド需要等の複合的な影響を注視していく必要がある。

管内 6月速報値	販売額	前年同月比
百貨店	43,285	- 8.2
スーパー	156,726	+ 3.1
コンビニエンスストア	107,885	+ 2.7
家電大型専門店	39,221	+ 4.5
ドラッグストア	105,110	+ 4.7
ホームセンター	29,501	+ 0.9
合計	481,728	+ 2.2



2. 個人消費

(1) 百貨店販売額

百貨店は、5か月連続で前年を下回った。

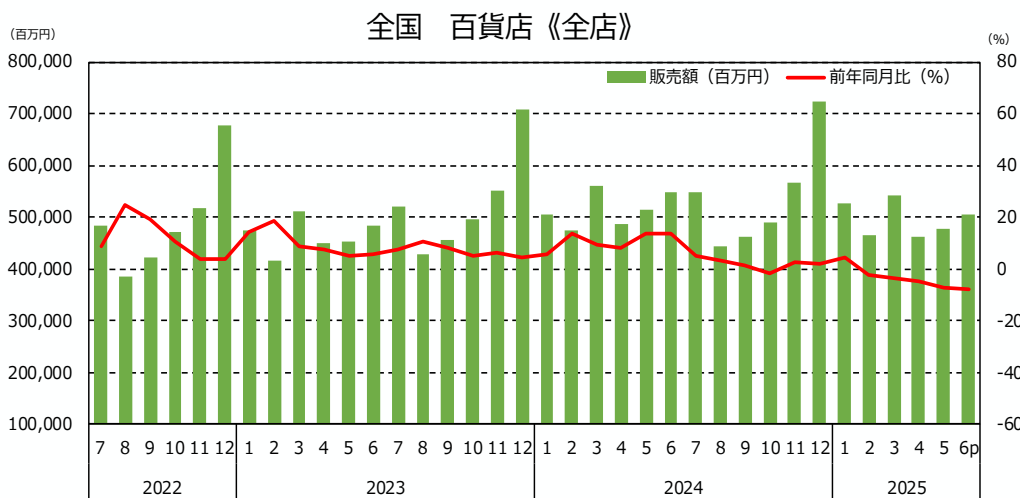
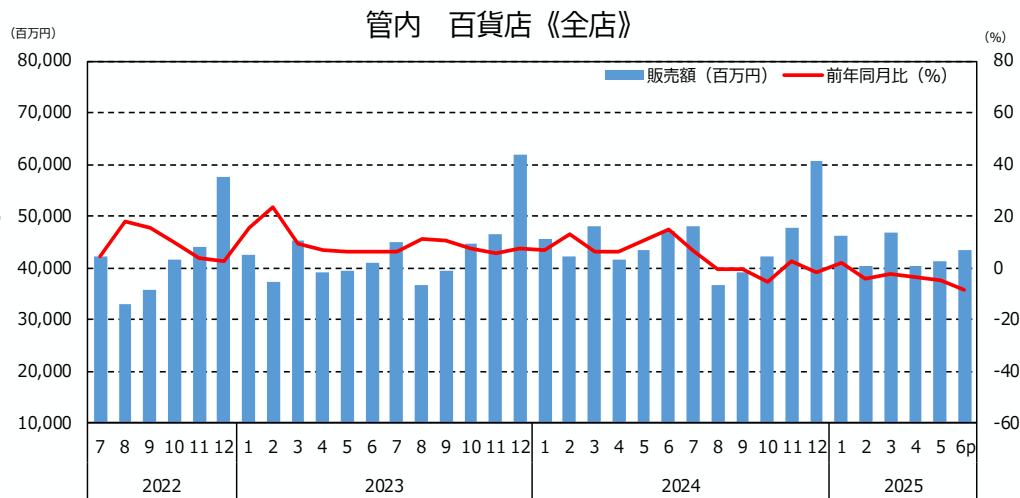
国内客の売上高は、月後半から夏物衣料が好調であったため堅調に推移したものの、為替変動を受けて高額品などの免税売上高が減少した。

管内 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	43,285	※1 - 8.2	※2 - 5.2

※1 全店と既存店の前年同月比差は、岐阜高島屋が2024年7月31日に閉店した影響。

※2 既存店とは、前年同月実績が比較できる状態の店のこと。1年未満の新店と閉店の実績を除く。

全国 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	505,384	- 8.0	- 7.7



2. 個人消費

(2) スーパー販売額

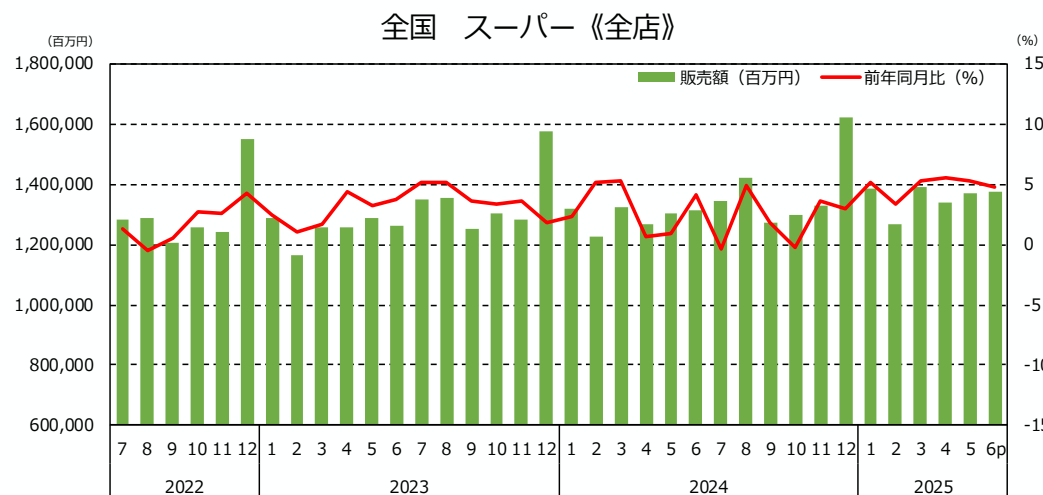
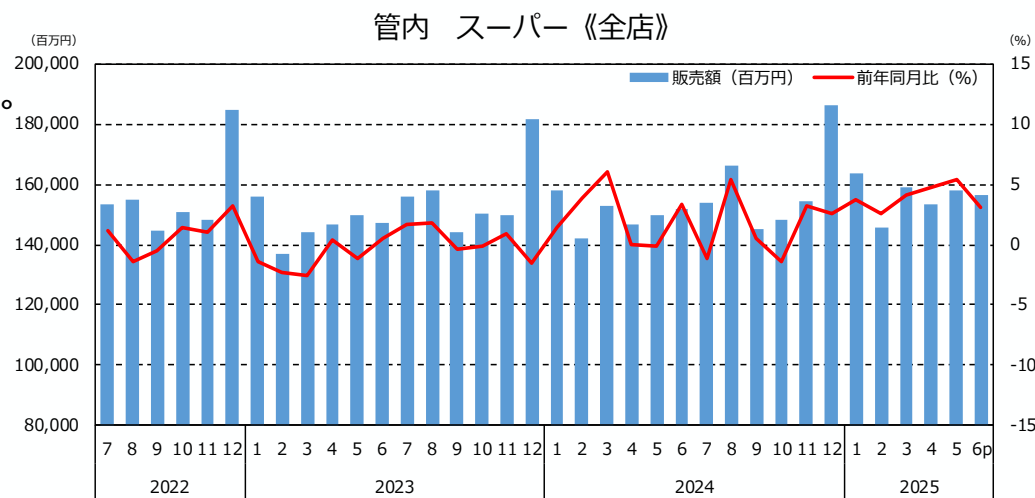
スーパーは、8か月連続で前年を上回った。

米の相場高が飲食料品の売上増加に寄与したほか、麺類などの代替品の売上も好調となった。

気温の上昇により、飲料やアイスクリームなどの売上が伸長した。

管内 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	156,726	+3.1	+1.5

全国 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	1,376,619	+4.8	+3.1



2. 個人消費

(3) コンビニエンスストア販売額 コンビニエンスストアは、4か月連続 で前年を上回った。

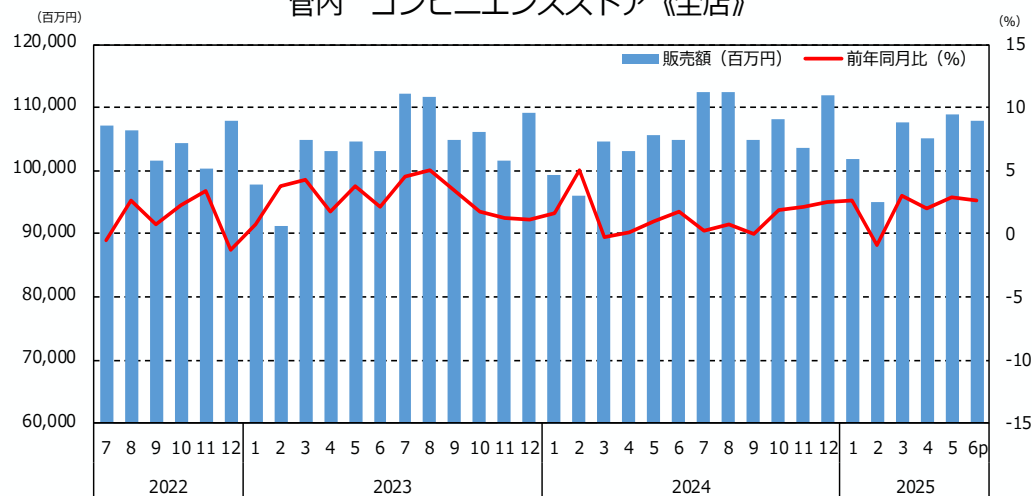
各社の販売促進が奏功しており、おにぎりなどの売上が好調となった。

気温の上昇により、飲料やアイスクリームなどの売上が伸びた。

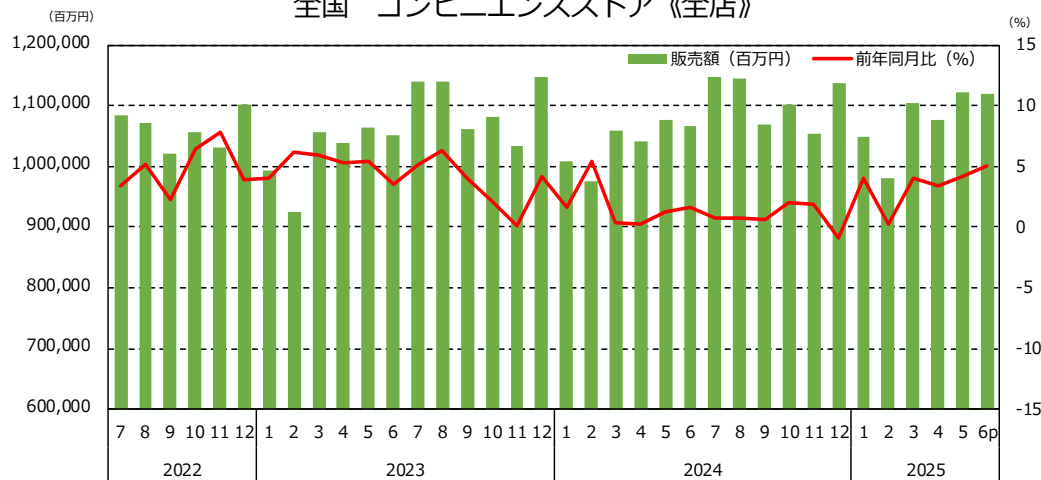
管内 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	107,885	+2.7

全国 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	1,121,109	+5.1

管内 コンビニエンスストア《全店》



全国 コンビニエンスストア《全店》



2. 個人消費

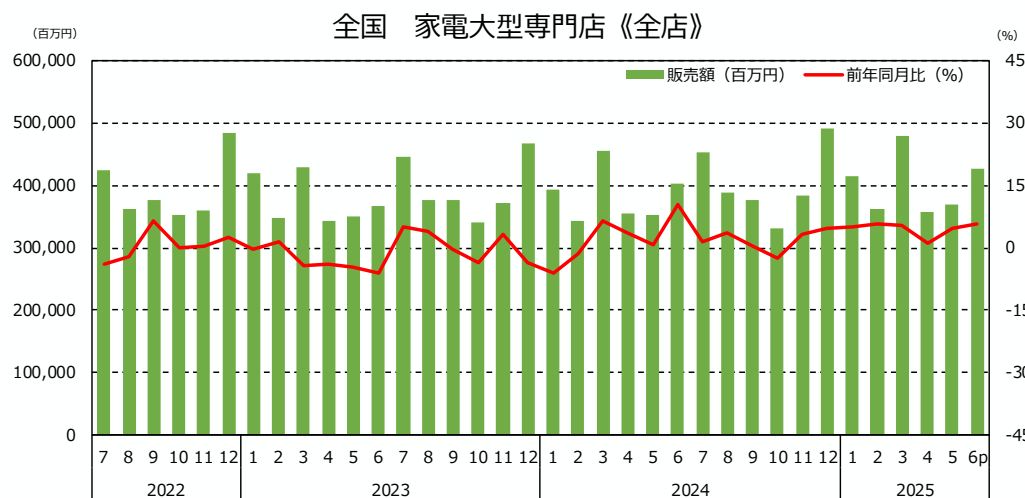
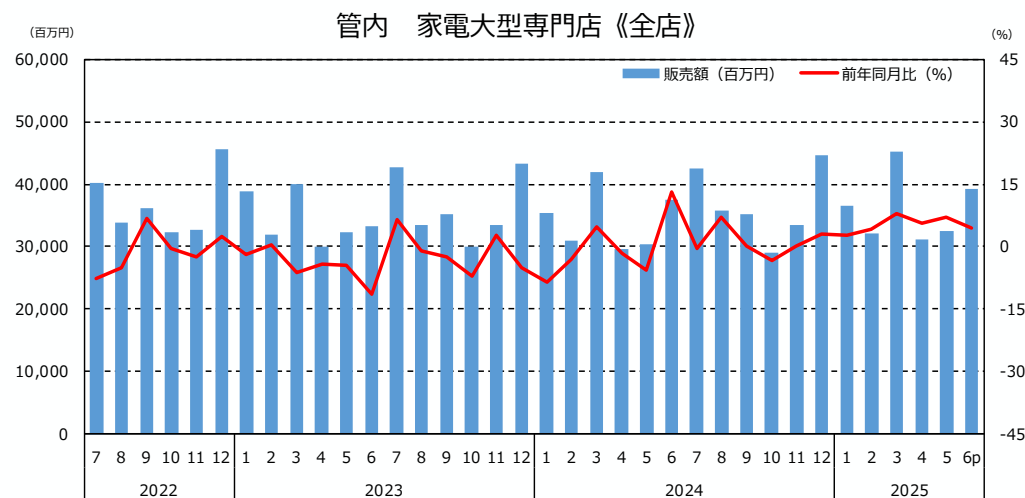
(4) 家電大型専門店販売額

家電販売は、7か月連続で前年を上回った。

猛暑予想によりエアコンの売上が好調となったほか、
新型ゲーム機の発売が売上増加に寄与した。
携帯電話、PCの売上が引き続き好調となった。

管内 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	39,221	+4.5

全国 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	426,104	+5.6



2. 個人消費

(5) ドラッグストア販売額

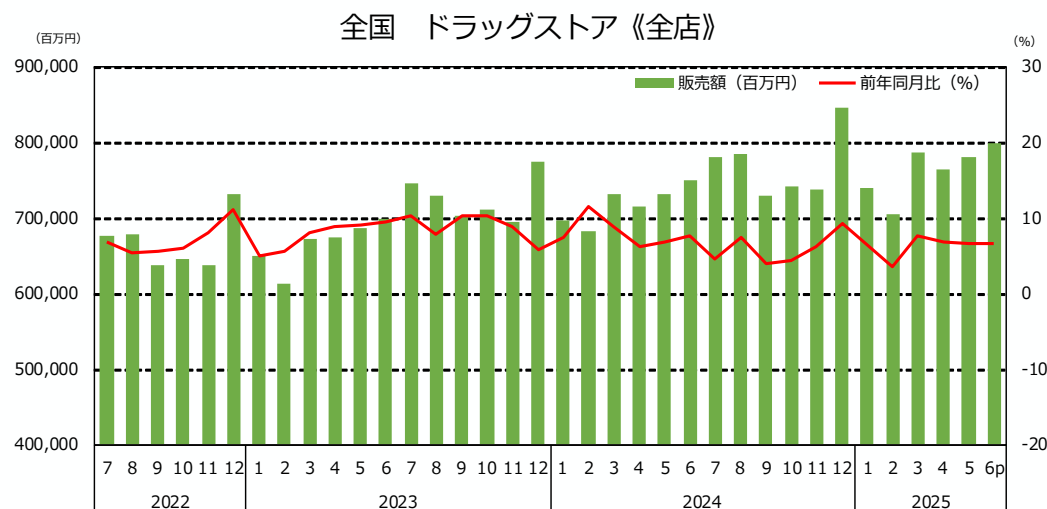
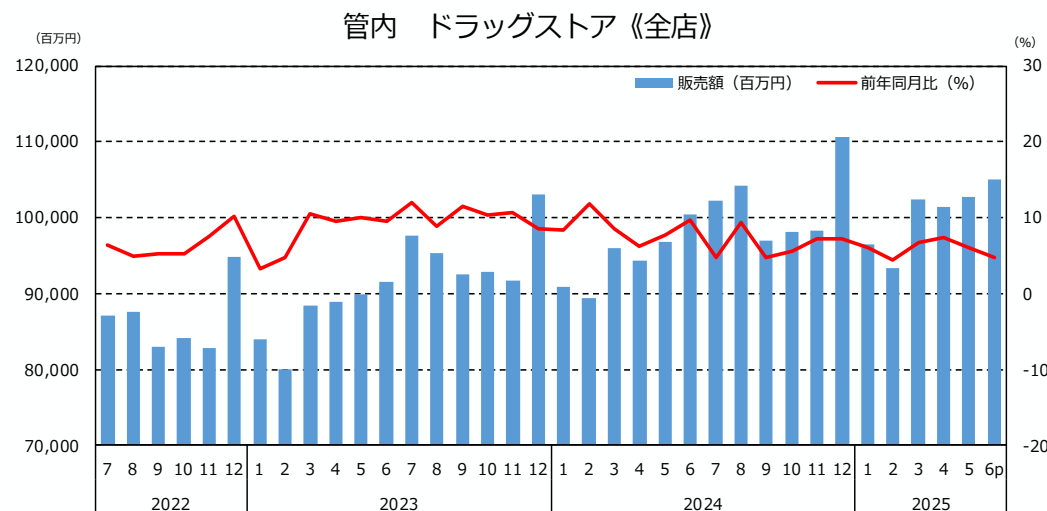
ドラッグストアは、50か月連続で前年を上回った。

米の相場高が食品部門の売上をけん引したほか、調剤部門の売上が好調となった。

気温の上昇により、制汗剤や殺虫剤などの季節商品が好調となった。

管内 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	105,110	+4.7

全国 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	798,409	+6.5



2. 個人消費

(6) ホームセンター販売額

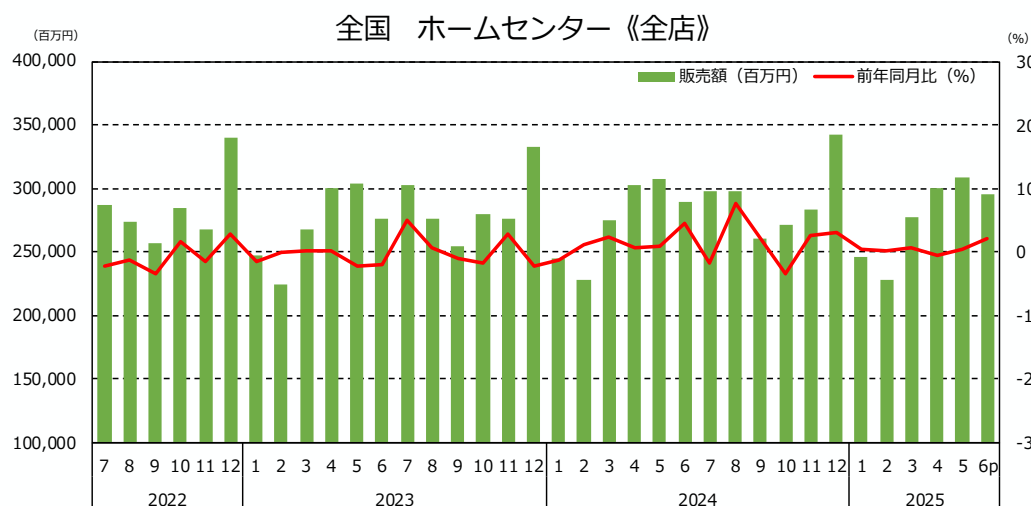
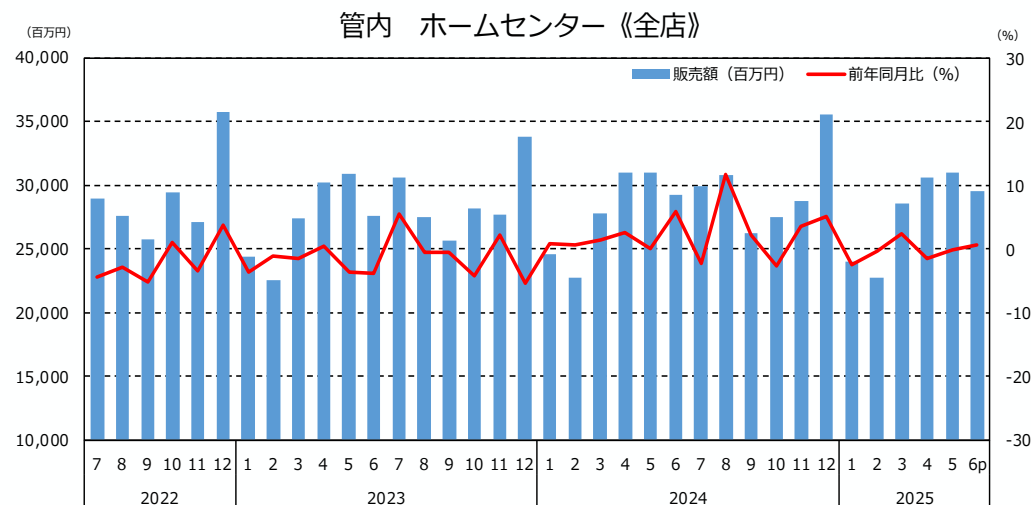
ホームセンターは、2か月連続で前年を上回った。

気温の上昇により、冷房器具やファン付きウェアなどの季節商品の売上が好調となった。

晴れの日が多く、除草剤を含む園芸用品やアウトドア用品などの売上が伸長した。

管内 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	29,501	+0.9

全国 6月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	295,500	+2.3



2. 個人消費

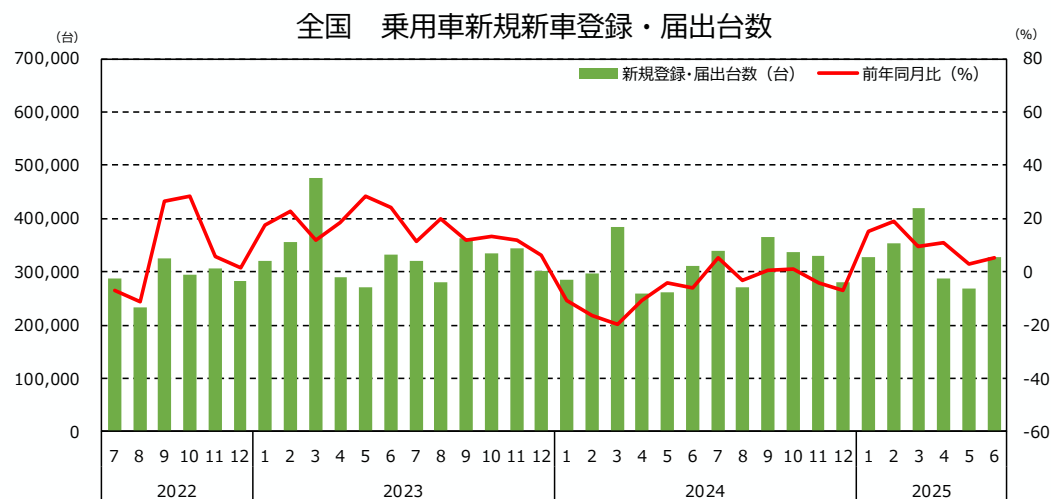
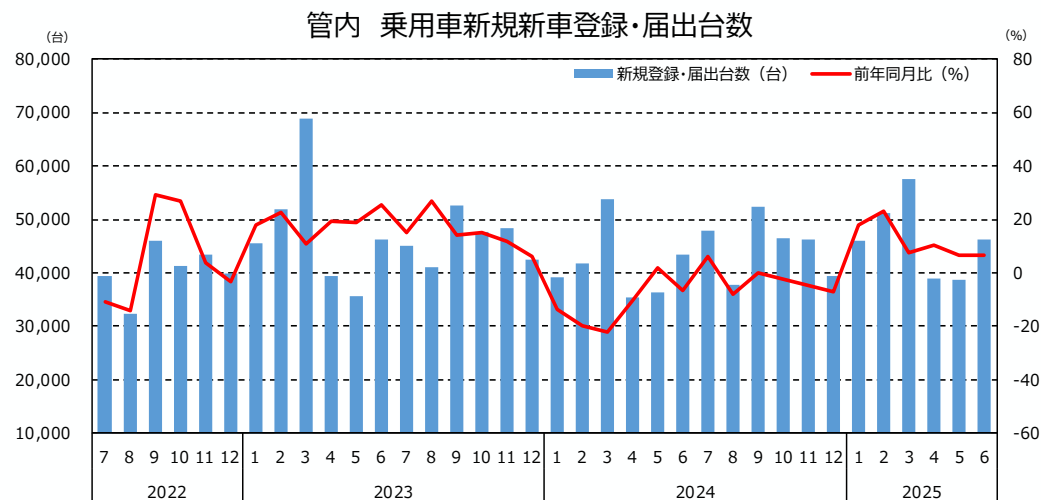
(7) 乗用車新規登録・届出台数

乗用車新車登録・届出台数は、6か月連続で前年を上回った。

前年の認証不正からの回復により供給体制が安定し、新型車の投入効果もみられ、新規登録・届出台数は前年同月を上回った。

管内 6月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	46,272	+6.7

全国 6月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	328,750	+5.5



出所) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

3. 設備投資

設備投資は、東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている。

(1) 企業短期経済観測調査（設備投資計画等） 2025年6月調査

(対前年度増減率%)

	東海		北陸	
	2024年度実績	2025年度計画	2024年度実績	2025年度計画
全産業	+7.1	+10.0	+2.3	+31.7
製造業	+7.8	+8.0	+1.7	+52.6
非製造業	+4.5	+16.6	+3.0	+7.4

出所) 日本銀行名古屋支店、日本銀行金沢支店

※東海（愛知、岐阜、三重）、北陸（石川、富山、福井）

※東海：ソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）

北陸：ソフトウェア・研究開発を除く設備投資額（含む土地投資額）

(2) 法人企業景気予測調査 2025年4-6月期調査

(対前年度増減率%)

	東海	北陸
	2025年度（見込み）	2025年度（見込み）
全産業	+22.6	+5.3
製造業	+15.1	+2.0
非製造業	+28.8	+10.8

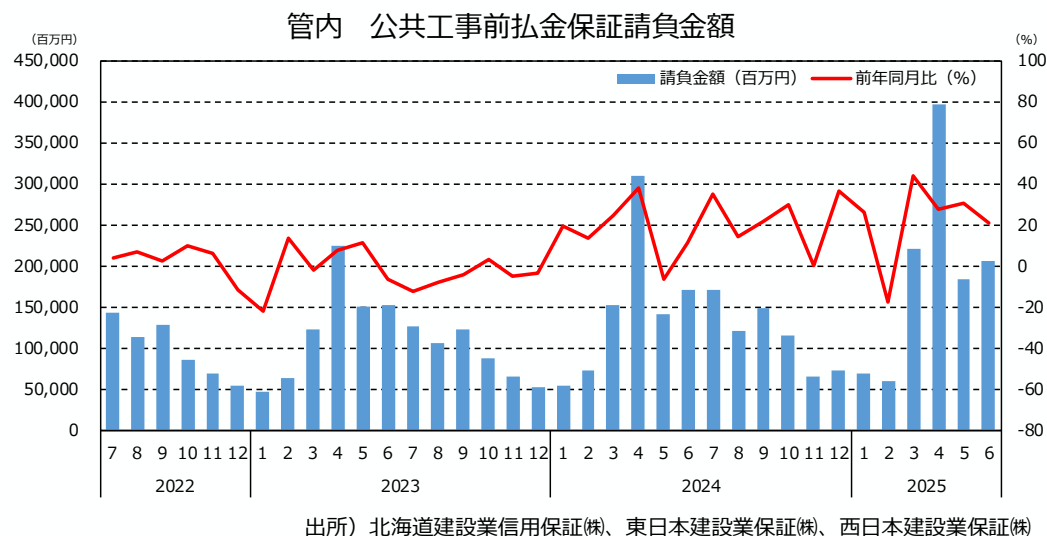
出所) 東海財務局、北陸財務局

※東海（愛知、岐阜、静岡、三重）、北陸（石川、富山、福井）

4. 公共投資

公共投資は、公共工事前払金保証請負金額が4か月連続で前年同月を上回った。

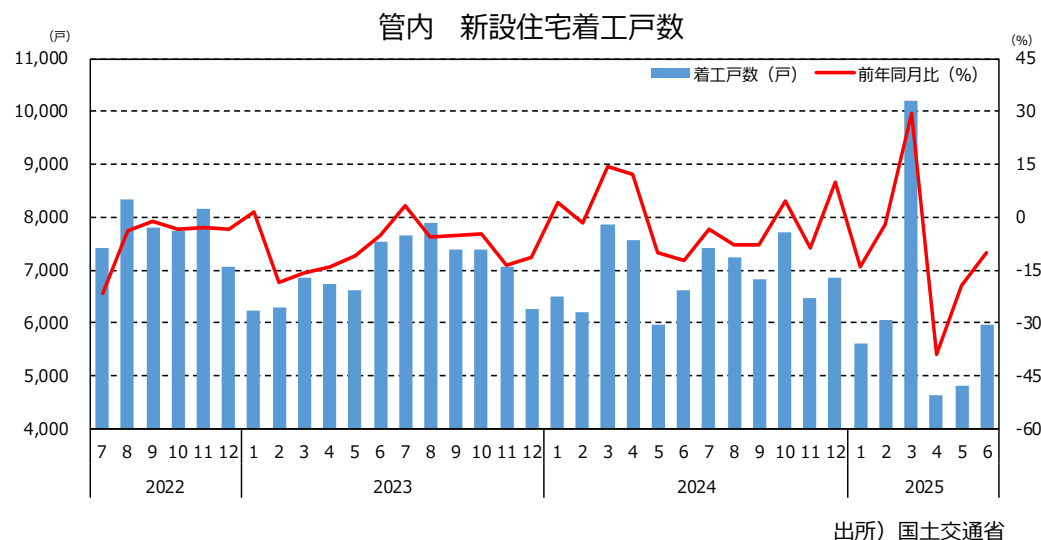
管内 6月	請負金額	前年同月比
前払金保証 請負金額	207,011	+ 21.3



5. 住宅投資

住宅投資は、新設住宅着工戸数が3か月連続で前年同月を下回った。

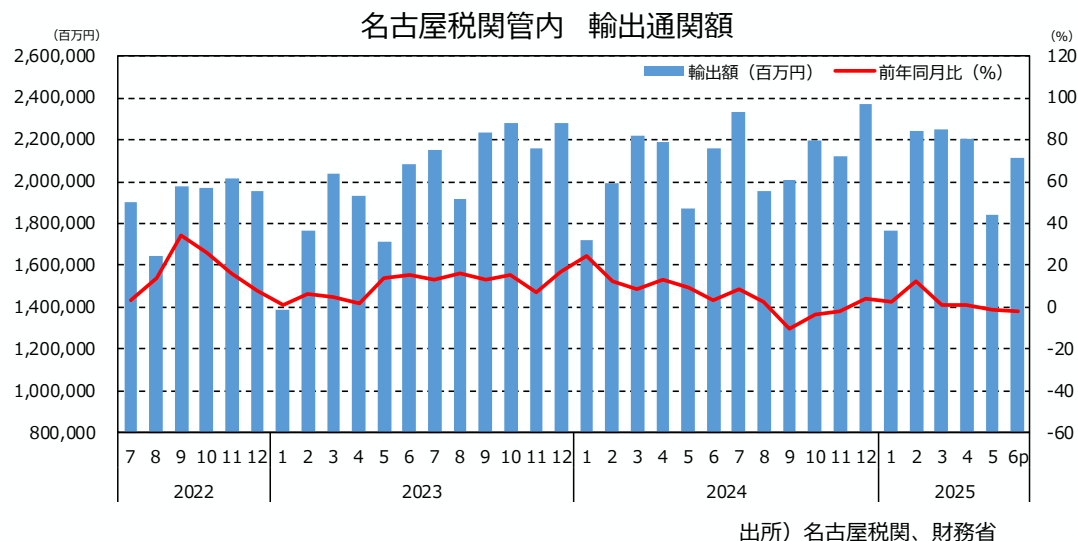
管内 6月	戸数	前年同月比
新設住宅 着工戸数	5,953	- 9.9



6. 輸出

輸出は、名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を下回った。

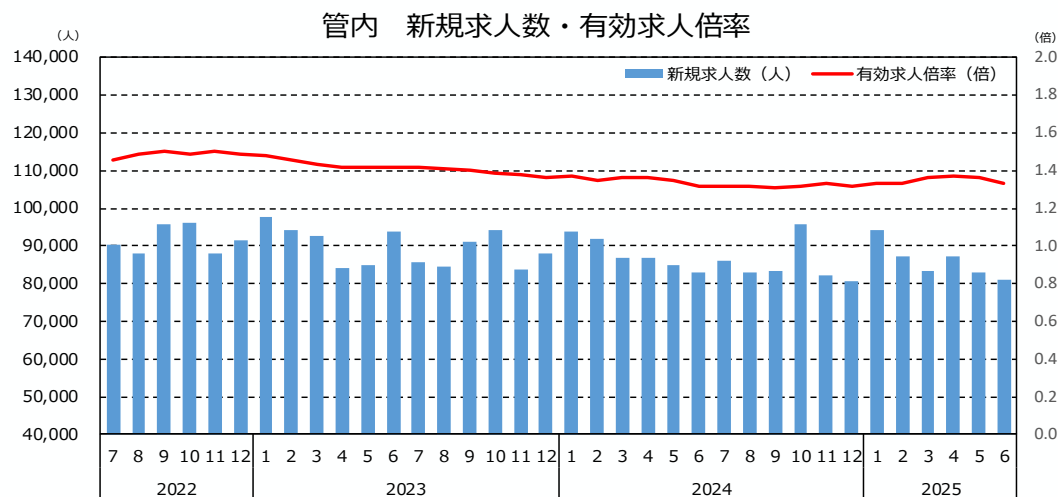
6月	輸出通関額 (速報)	前年同月比
名古屋税関 管内	2,111,553	- 2.1



7. 雇用

雇用は、有効求人倍率が2か月連続で低下した。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。

管内 6月	倍率	前月差
有効求人倍率 (季節調整値)	1.33	- 0.03
管内 6月	人数	前年同月比
新規求人数 (原数値)	81,034	- 2.5



8. 企業倒産

企業倒産は、倒産件数が2か月ぶりに前年同月を上回った。

管内 6月	件数	前年同月比
企業倒産	93	+27.4

